



浜っ子

発行 カトリック浜寺教会
高石市羽衣 2-2-27
TEL072-261-1563
FAX072-261-1594

2019年2月号 (2019.1.27 発行)

『世界病者の日』によせて

いずみブロック共同司牧司祭 村田 稔



皆様あけましておめでとうございます。別に旧暦の正月を祝ってるのではないのですが、今年まだお会いできてない方もいらっしゃるので、遅ればせながら紙面をお借りして、ごあいさついたします。今年もよろしく願いたします。

ご承知のように、2月11日はルルドの聖母の祝日です。教会はこの日を、「世界病者の日」と定め、全世界の人々に、病気の人・病気にかかわっている人々のために祈るように促しています。ちなみに大阪教区では、2月のカテドラルでの空調事情により、昨年度から10月に行っています。

少し長くなりますが、昨年度の教皇様のメッセージを引用したいと思います。

「イエス様はご自分の癒す力を、教会に与えてくださいました。……使徒言行録には、ペトロとパウロが癒しのわざを行ったことが記されています。教会の使命は、イエスからのこの賜り物に答えることです。教会は、主のように優しく思いやりに満ちた視線を病者に向けなければならないことを自覚しています。医療にかかわる司牧活動は、小教区の共同体から最先端の医療機関に至るまで、皆が新たな熱意をもって携わるべき必要不可欠な使命でしたし、これからもそうあり続けるでしょう。慢性疾患や重度の障害を抱えた子供たちや親、親戚を介護している多くの家族の優しさと忍耐強さを、わたしたちは忘れることができません。家庭内で行われる介護は、人間に対する愛の卓越したあかしであり、正しい認識と適切な政策によって支えられなければなりません。したがって医者、看護師、司祭、修道者、ボランティアの人々、家族、そして病者をケアするすべての人がこの教会の使命に携わっています。それは、各自の日々の奉仕をさらに有意義なものにする共同責任です」。

病気の人々のみならず、弱い立場に置かれている人々へのかかわりの必要性は、イエス様自身が私たちに示してくださいました。弟子たちもその教えを、継続実行し、わたしたちに引き継いでくださいました。毎日のことなのですが、特に2月、全世界の兄弟姉妹とともに、このことを思い起こし、実践への努力に励みたいと思います。教皇様の言われる共同責任を果たせるように努力いたしましょう。



病者・弱者のそばにいる人・寄り添える人は、幸いである。

Regarding to World Day of the Sick

Happy New Year! I do not specifically praying for New Year in lunar calendar, but since there are still some people that I have not greeted, even if it is late, kindly allow me to borrow a paper and greet you all a Happy New Year.

As we all know, February 11th is the day for Our Lady of Lourdes. On that day, our Catholic Church decided to have it as a day of “World Day of the Sick” so as to promote the awareness of the people to pray for all the sick people around the world. In this connection, in the Archdiocese of Osaka, due to the poor heating system we celebrate it in October since last year.

This message is getting longer, but allow me to quote the message given by Pope Francis on the occasion of World Day of the Sick last year.

“Jesus bestowed upon the Church his healing power . . . In the Acts of the Apostles, we read accounts of the healings worked by Peter and Paul. The Church’s mission is a response to Jesus’ gift, for she knows that she must bring to the sick the Lord’s own gaze, full of tenderness and compassion. Health care ministry will always be a necessary and fundamental task, to be carried out with renewed enthusiasm by all, from parish communities to the largest healthcare institutions.

We cannot forget the tender love and perseverance of many families in caring for their chronically sick or severely disabled children, parents and relatives. The care given within families is an extraordinary witness of love for the human person; it needs to be fittingly acknowledged and supported by suitable policies. Doctors and nurses, priests, consecrated men and women, volunteers, families and all those who care for the sick, take part in this ecclesial mission. It is a shared responsibility that enriches the value of the daily service given by each.”

Jesus himself has shown us the necessity for our involvement not only for the sick people but also for the vulnerable ones. Even the disciples continued that teaching of Jesus and inherited it to us.

In our every day lives, especially in February, I would like to encourage us, together with all of our brothers and sister all over the world, to implement that teaching. And finally, as Pope Francis has told us about the “shared responsibility” towards our sick brothers and sisters, let us do our extra efforts to fulfil it.

Blessed are those, who are close to the people who are sick and weak.

<今年は、評議会役員改選の年です>

新しい風を、評議会に吹かせてください。一緒に働いてくださいませんか。フォローいたします。

2月3日より、3週にわたり、三役の選挙がおこなわれます。

選挙が終わりましたら、評議会活動の参加募集が始まります。小さなお手伝いでも構いません。

どこかの委員会に属していただき、教会を支えるために、力をお貸してください。

詳しくは 3月号で特集いたしますが、気になる委員会がございましたら、お尋ねくだされば、

ご説明いたしますし、体験も可能ですよ。

<四旬節ブロック黙想会> 4月7日 浜寺教会

講師：酒井俊弘 補佐司教 テーマ：「ゲッセマネの祈り」 ご予定に入れておいて下さい

第11回 クリスマスコンサート(2018.12.24)



12月にしては暖かく、風も無いとても穏やかなお天気に恵まれ、2百名近い方々にご来場を頂き、無事コンサートが開催できました。毎年楽しみにして来られている方もいらっやって、一般の方のほうが信者の割合よりもはるかに多く、定着してきたようにも感じ取れました。今年も宮崎剛先生の知識豊かな曲紹介に続く、素晴らしいピアノ演奏に魅了されました。もちろん、毎年圧巻の即興リクエストメドレーに、定番の「翼をください」の大合唱で今年も会場が一つになりました。



堺フィルハーモニー交響楽団の皆様には、童謡からタンゴ、クリスマスソングまで幅広い曲を弦楽四重奏で演奏いただきました。楽団の皆様のリクエストによって全員で声を合わせて歌った「花は咲く」は心に沁みました！



またカルロス神父様からのクリスマスのお話、そしてガル助祭様とのデュオで歌ってくださった「Birth Day」は私達の心にしっかりと刻まれました。今年も、とても素晴らしいコンサートであったと思います。クリスマス献金総額¥79,066 送金しました。

お忙しい中、手作りケーキ・お茶菓子など差し入れして下さった方々、準備から後片付けまでお手伝い下さった方々に心から感謝申し上げます。ありがとうございました。



「地域の方々と共に歩む開かれた教会」でありたいとの思いから始めたこのコンサート。

アンケートにいただいた温かいメッセージを励みに、これからも続けていきたいと思っています。

ご意見・ご感想などございましたら、是非お聞かせくださいませ。 ご協力ありがとうございました。

Xmas コンサート実行委員会

日・越・伯 合同ミサと成人式(2019.1.13)

耐震補強工事が始まり、聖堂が使えない状況下、信徒会館において、ベトナム・ブラジルの信徒と合同でミサをお捧げしました。神父様からは年に3回、このような形のミサを行いたい。心を合わせて祈り、歌い、共同体の温かさを感じました。ミサの中では、成人になられた方々のお祝いの祈りも捧げられました。これからの人生、どんな時でもひとりではなく、神様が共にいて下さり、そして、この共同体がいつも応援していますよ。

ミサ後は、お天気にも恵まれ、外で、新年会を兼ねて、楽しいひと時を過ごしました。庭で採れたオリーブも、神父様方が手間暇かけて美味しく味付けしてくださり、たくさんのお料理とともに頂きました。

お料理・お菓子など、持ち寄って頂いた方、お手伝いなど、ご協力ありがとうございました。



ベトナム青年たちの、日本語を学ぶ集まり



毎回、テーマを決めて、それについて会話をしましょう。彼ら自身が日本語を話すこと、私たちの日本語をよく聞くことが、日本語を学んでいくことにつながります。ゆっくり、なるべく標準語で、会話してください。彼らの話すことを、せかさず、中断せず、最後まで聞いてあげてください。

毎週日曜のミサ後、時間の許す限り、開きたいと思います。お時間がございましたら、お付き合い下さいね。

2月の主日ミサ担当一覧	浜寺 9:30	和泉 9:30	岸和田 9:30
3日 年間第4主日	ベスコ	村田(評議会) インターナショナルミサ	カルロス(評議会) インターナショナルミサ
10日 年間第5主日	村田(評議会) ポルトガル語(マルコ)11時	カルロス	ベスコ
17日 年間第6主日	カルロス	ベスコ 英語(カルロス)14時	村田
24日 年間第7主日	ベスコ	村田	カルロス 英語(村田)15時

◇毎週土曜日 19:30 主日前晩のミサ(和泉)

◇平日のミサ 浜寺：火曜日(毎週) …9:00 和泉：月曜日(毎週) …19:00
木曜日(第2, 4)…9:00 (※今月は7日と28日) 金曜日(毎月第1)…9:30
金曜日(毎月第1)…9:30 岸和田：木曜日(毎週)… 9:00

◇ポルトガル語ミサ 毎月第2日曜日…11:00(浜寺)

◇英語ミサ 毎月第3日曜日…14:00(和泉) 毎月第4日曜日…15:00(岸和田)

◇インターナショナルミサ 毎月第1日曜日…9:30 (和泉)(岸和田)

2月の各種集いの案内

- ◇ 聖書のかち合い(Fr.村田) …… 第1、3金曜日 19:00 : 浜寺教会
- ◇ 聖書のかち合い(Fr.カルロス) … 第2、4木曜日 ミサ後 : 浜寺教会
- ◇ キリスト教講座(Fr.カルロス) … 第1、3土曜日 13:00 : 岸和田教会
- ◇ 「聖書100週間で読む」集い(Sr.ルイザ) …毎週土曜日 14:30 : 和泉教会
- ◇ キリスト教の勉強会(Fr.カルロス) … 第2、4金曜日 19:30 : 和泉教会
- ◇ 勉強会 (Fr.カルロス) … 第2、4水曜日 19:30 : 浜寺教会

→ (※変更になる場合が有ります。お尋ねください)

2月の奉仕者当番表

典礼奉仕について都合の悪い方は必ず典礼委員までご連絡ください。

	先唱	侍者	第一朗読	第二朗読	名札受付 共同祈願	掃除当番	お茶当番
	聖体奉仕						
3日					営繕	泉大津	堺③
10日					庶務		高石
17日					社会活動	堺	泉大津②
24日					宣教	高石	堺①

※17日は泉州マラソンです。ミサ終了時には、全面通行止めで車は出せません。お気をつけ下さい。